

令和2年度庄原市幼保小連携・接続に係る研修会

令和2年9月14日（月） 庄原市口和自治振興センター

幼児期の教育の特質や内容等について理解を深め、スタートカリキュラムの充実を図ることにより、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図ることを目的に、研修会を行いました。

【講話・演習】「幼保小連携と接続の推進に向けて」

広島県教育委員会 乳幼児教育支援センター 指導主事 末岡 信子
幼児教育アドバイザー 神田 留美



◆現在求められている幼保小の連携・接続や、幼児期と児童期の学びをつなぐこと、県内他市町の幼保小連携の状況等について講話を行いました。

【参加者の声】

- ・子供の発達や育ちには切れ目がなく、保育所で培った資質・能力を、小学校において発揮できるようにスムーズにつないでいくことが大事であることを再確認した。
- ・学習の土台となる「学ぶことは楽しい」という学びの芽を小学校でもしっかりと伸ばしていきたい。
- ・乳幼児期の育ちを丁寧に小学校へつないでいくことで、子供たちに自己を発揮する力を付けることができると感じた。普段からの連携を大切にし、行き来のしやすい雰囲気づくりをしたい。

【協議】「今年度のスタートカリキュラムの実際について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 小谷 綾子



◆今年度から実施しているスタートカリキュラムの実際について保育所等と小学校が交流し、保育所のアプローチカリキュラムで目指す姿と小学校スタート時の姿のすり合わせ等、カリキュラムの改善に向けた協議を行いました。

【参加者の声】

- ・小学校区で協議することで、今年度の児童や年長児の姿を知ることができ、参考になった。来年度のスタートカリキュラムの作成にかかって、いつ頃連携すればよいか話もできた。
- ・接続のポイントや視点を再確認できたことで、今年度カリキュラムを作成する際に、より具体的に記入していけると感じている。